

2学期始動。

8月は体育祭で青春謳歌

2学期の始まりに寄せて

校長 関谷克志

「命を大切にしてください」…終業式の挨拶で、毎回生徒に呼び掛けていることです。この夏休みも大きな病気や事故もなく、全員が健康・安全に過ごせたことをとてもうれしく思っています。休み中の地域・ご家庭でのご指導に感謝申し上げます。

今年の夏休みはいつもより短い23日間でしたが、今年もたくさんの生徒のがんばりや活躍を見ることができました。全道大会に出場した卓球部3名は、宗谷地区代表としてがんばり、貴重な経験をしていくことができました。1. 2年生は来年度的全道大会出場をめざして部活動に励み、野球部とバレー部は稚内遠征にも行きました。一方、3年生は毎日のように学習会を行いました。有志参加でしたが、たくさんの生徒が礼文検定合格・進路実現に向けて自分の課題に取り組みました。

8月10日に行われた「海峡まつり」では、有志14名が香中ソーランを披露し、たくさんの声援とご厚志をいただくことができました。ありがとうございました。

今日から始まる2学期は1年で一番長い学期です。体育祭・香中祭という大きな行事もあります。「力合わせ」の上手な香中生ですが、たてわり・学年集団での「話し合い(時にぶつかり合い)」を通して、更に「人と積極的に関わる力・深く関わる力」を育てていきたいと思います。また、駅伝大会・稚内ソーラン祭もあります。体育祭・香中祭ともども「これまでの応援に対する感謝の気持ちを、自分たちのがんばっている姿を通して伝えていく場」としておさえ、全力で取り組む姿をご覧いただけるようがんばって参ります。

2学期も香中生に対する熱い声援・激励をよろしくお願い申し上げます。

午前の部
富士見ヶ丘グラウンド

9:30 開会式～香中ソーラン

9:50 100m走

10:05 14人15脚

10:20 フィールド競技
(ターボジャブ投げ・走高跳・走幅跳)

10:50 天竜下り

11:05 中距離走
(男子900m・女子600m)

12:30 アルティメット

12:30 アルティメット・ミニバレー

14:05 みんなでジャンプ

14:15 閉会式

午後の部
香中体育館

第2回香中体育祭は8/27(日)



全道レベルを体感してきました。

日高町で開催された北海道中学校卓球大会に、香中からは3名の選手が出場。長距離移動の上、気候や大会規模も異なる環境の中で健闘しましたが、3名とも1回戦で敗退。念願の勝利を挙げることはできませんでした。



【個人戦男子シングルス1回戦】
3年 夏堀悠斗(1-3)日高代表

【個人戦女子シングルス1回戦】
3年 鈴木仁愛(0-3)開催地代表
3年 坪山実央(0-3)十勝代表

3年生が引退した野球部は、今月初めに4日間の合宿を実施。夏休み返上で新チームが動き始めました。今回の合宿は稚内南中との合同練習主体にスケジュールが組まれ、同じポジションの中学生と一緒に基本中心にじっくりと汗を流しました。いつもより多い人数での練習に、大いに刺激を受けて帰ってきたチーム礼文です。

野球部...再始動の夏。



海峡まつりで今シーズン初お披露目

8月10日に行われた「海峡まつり」に今年も香中生有志14名が出演。礼文太鼓保存会の和太鼓とのコラボで「香中ソーラン」を披露しました。1年生も加わったフレッシュな踊りに会場からは割れんばかりの拍手。アンコールもかかり、地域の祭りを大いに盛り上げたステージとなりました。



2学期が始まった。校舎のあちこちから生徒の声が聞こえるのは、やはりいいものである。夏も終わりに近づき、肌寒さすら感じる礼文だが、始業式を迎えて校内の温度が2〜3度上昇した印象である▼それでは夏休み中は...というと、実は一人も生徒が来なかった日は数えるほどしかない。3年生引退後の新チームでの部活動や、海峡まつりや体育祭に向けた香中ソーランの練習で、夏休みに入ってから元氣な香中生の姿を何度も見ることができた▼そんな中、最も夏休み中に登校したのは3年生の子と先生たちではないだろうか。学級全員の進路実現に向け、「夏が勝負」と休み返上で学習会を実施。カラスが鳴かぬ日はあっても、3年生が教室で勉強していなかった日はなかった▼それぞれの都合に合わせての参加なので、賑やかな日もあれば一人、二人の日も。ほぼ毎日来た子もいれば、ほんの数回という子もいるが、特筆すべきは全員がこの学習会に一度は必ず参加したということ。学級全員が休み返上で勉強し、十五の春への挑戦の第一歩を踏み出した、中学最後の夏休みだった▼楽しい事だけじゃなく、苦しい事を共にしてこそ、人の集まりは「群れ」から「仲間」へと変わっていく。絆を生み、成熟させていくものは苦楽を共にするという経験だ▼3年生の頑張りは、成功と成長に欠かせないものを明確に示している。大きな行事が続く2学期の始まりに教訓としたい。本物の活気は、本物の仲間だけに生まれるものだ。

